学校番号	2101

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「書道Ⅰ」（教育出版）						
副教材等	使用しない						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違いを学びましょう。
・楷書行書草書篆書隷書仮名の様々な書体を体験し、毛筆の特性を理解し使いこなすことにより、自分らしい文字を書くことができるようになることをめざします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	主体的かつ創造的な書道の表現をするために必要な知識や技能を身に付け、効果的に表現方法を工夫している。	書のよさや美しさを感じ取り感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現している。	書作活動の喜びを味わい、多様な表現方法や書道文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前半	楷書の学習	・楷書の基本点画 ・孔子廟堂碑の臨書 ・九成宮醴泉銘の臨書 ・小印(ゴム印)制作	a: 楷書の基本的用筆を理解し、分間布白の整いを表現しようとしている。 b: 楷書体の筆使いを理解し点画の習得に努め、構築性を考え書作している。 c: 楷書の美とその表現方法について関心を持って、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート
	行書の学習	・行書の用筆法 ・蘭亭序の臨書 ・風信帖の臨書 ・枯樹賦の臨書 ・団扇一文字創作	a: 行書の基本的用筆を理解し、表現を工夫しようとしている。 b: 行書体の筆使いを理解し、古典の技法を表現できている。 c: 行書の美とその表現方法について関心を持って、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート
後半	仮名の学習	・いろは歌平仮名単体 ・変体かな ・連綿の基礎 ・蓬莱切臨書 ・俳句短冊形式創作	a: 平仮名変体仮名の基本的用筆を理解し、表現を工夫しようとしている。 b: 連綿の筆使いを理解し、古典の技法・構成法を参考に個性的に表現している。 c: 仮名の美とその表現方法について関心を持って、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート
	漢字仮名交じり書の学習	・詩文の選定 ・文字調べ ・草稿作成 ・半紙による試作 ・半切3分の1による作品制作 ・作品制作レポート ・相互批評会	a: すでに学習した技法が表現にどのように活かされているか b: 題材として選んだ語句の意味を考え、制作時に表現意図が反映されているか c: 表現とは何かを理解し、積極的に取り組んでいる。個々にしか書けない文字を尊び、丁寧に作品を扱っている。	提出作品 レポート ポートフォリオ	提出作品 レポート ポートフォリオ	授業への取り組み ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度